

第27回 地域の声委員会の概要について

平成25年5月14日に開催した地域の声委員会では、平成24年度第4四半期に皆さまからいただいた声について、しっかりと分析するとともに、今後の発電所の運営に反映できるよう検討しました。

皆さまからいただいた声を真摯に受け止め、発電所の安全対策を着実に進めるとともに、迅速かつ正確な情報公開について努めてまいります。



地域とともに

東京電力

柏崎刈羽原子力発電所

地域の皆さまから、322件の“声”をいただきました

(平成24年度第4四半期)

発電所に直接電話をいただいた声、当社社員による地域訪問活動の際にいただいた声、PR施設等をご見学時にいただいた声、発電所広報誌「ニュースアトム」に添付のハガキによる声など、多くのご意見・ご要望をいただきました。

【いただいた主な声】

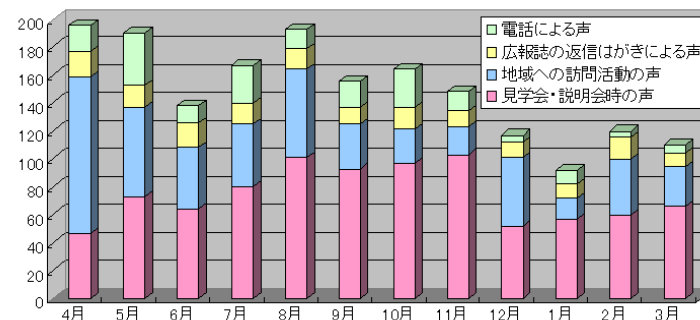
- ・ 建屋と設備については「これ程まで」という対策がなされているようだが、「人は石垣、人は城」の古事のようにソフト対策が必要と強く感じた。
- ・ 福島事故の時はいろいろな報道があり、原子力発電の仕組みなどには詳しくなったが、実際の安全対策については新聞などで報道される機会が少ない。地震対策も中越沖地震後に強化を行っているし、今回の事故により津波対策もいち早く実施されていて、安全対策については安心できた。
- ・ こんなに大きな発電所なのに全部停止中なんてもったいない。
- ・ 原子力発電は安全性が確保できれば素晴らしい発電方法だと思う。しかし、福島第一の事故を受けて自分の意見があやふやな状態である。福島第一の事故を教訓に、柏崎刈羽原子力発電所だけでなく、世界中の原子力発電所が同じ事故がくることを想定して安全対策をとるべきだと思う。
- ・ 電気が足りれば原子力は不要と思う。
- ・ 古い火力をだましだまし使いながら、今は電力を確保できているけれど、原子力を動かさないととなるとどうなることやら。風力も太陽光も天気任せだし、困ったものである。

【今後の活動方針】

いただいた声をもとに、引き続き下記の点に取り組んでまいります。

- 真摯な「広聴」を実施してまいります。
- 丁寧な訪問活動を実施してまいります。
- サービスホールにおける説明会や見学会を継続して開催してまいります。
- 当社の取り組みを理解していただくための活動に取り組めます。
- 地域の声を収集し、地域の方々の不安解消に取り組んでまいります。
- 皆さまからいただいた声は、引き続き所長以下発電所内と本店で共有し発電所運営に活かしてまいります。

平成24年度にいただいた声の件数



今後も皆さまからいただいた声をしっかりと発電所運営に反映してまいります。